

ご取材のお願い

平成24年7月26日

すかがわ岩瀬農業協同組合

公益財団法人ヤマト福祉財団

すかがわ岩瀬農業協同組合 低温倉庫新築に伴う竣工式の開催

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第1次助成先の一つであるすかがわ岩瀬農業協同組合（福島県須賀川市）の農業用低温倉庫が完成し、竣工式を8月2日（木）午前11:00より執り行います。

すかがわ岩瀬農業協同組合は、福島県の中通りに位置する3市町村に約1万人の組合員を有し、キュウリをはじめとする野菜や果物、数多くのブランド米を開発、全国に提供しています。しかし東日本大震災では、集落ごとにあった農業倉庫の損壊、ため池の決壊など内陸の津波と言われるほど甚大な被害を受けました。原発事故による農産物の風評被害もそれに追い打ちをかけています。

すかがわ岩瀬農業協同組合では、損壊した旧式の六つの倉庫を一つの大型低温倉庫に集約することを計画しました。これまで常温で保管していた米を低温保管することで品質管理ができ、大型化により検査・流通の効率化を図ることができます。また、放射線測定機器の常設により、消費者に安心・安全を提供し風評被害の払拭を図っていく予定です。

ヤマト福祉財団では農業用施設の復旧が、地元の産業およびそこに暮らす人々の生活の再生に不可欠だと考え、昨年8月に農業倉庫の新設に2億5500万円の助成を決定致しました。今年1月30日に起工式が行われ、このたびの竣工に至りました。



（崩壊した旧式の倉庫）



（より安心、安全に農作物を提供できる最新設備の倉庫が完成）

福島県、そして東北の復興は途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

すかがわ岩瀬農業協同組合

担当：近藤（0248-72-5211）

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時

平成24年8月2日（木） 午前11時00分より

2. 場所

福島県須賀川市矢沢字新田中2

すかがわ岩瀬農業協同組合 岩瀬支店 事務所裏側

(TEL: 0248-65-2101)

3. 主な参加者（敬称略）

(1) すかがわ岩瀬農業協同組合 代表理事組合長 橋本 正和

(2) 福島県県中農林事務所農業振興普及部 部長 松村 正彦

(3) 須賀川市 市長 橋本 克也

(4) 鏡石町 副町長 助川 浩一

(5) 天栄村 副村長 門馬 秀幸

(6) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二

4. 施設概要

(新施設) 低温農業倉庫 鉄骨造平屋建て

建物 1394.58 m²、敷地 9060.52 m²

標準収容量 25,200 俵

フォークリフト1台 放射線測定器一式

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。6月30日をもって募金と助成の応募は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3608万1360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億7426万4524円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6,600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。